

国務院部門責任者会議

田中 修

はじめに

10月8日、李克強総理は国務院部門責任者会議を開催し、今後の経済社会発展政策を手配した。会議には、張高麗副総理、汪洋副総理、馬凱副総理、楊晶国務院秘書長、常万全国務委員、王勇国務委員が出席した。まもなく発表される7-9月期成長率は4-6月期を下回るものと予想され、党4中全会開催を控え、政府内の意思統一を図ったものと思われる¹。本稿では、李克強総理講話のうち、経済関連部分の概要を紹介する。

現在、わが国経済運営は総体として合理的区間を維持²しており、改革の効果が不断に発揮され、新しい成長動力が生成されつつある。しかし、国際・国内の経済下振れ圧力は大きく、各種の矛盾が交錯している。わが国の発展が長期的に好い方向に向かっているというファンダメンタルズに対し十分に自信をもちながらも、困難・試練を十分に推し量り、新しい視角を用いて経済の脈をよみ、新しい考え方で新たな局面を切り開き、持続的な発展の中で雇用を拡大し、所得を増やし、生態を改善し、質・効率を向上させなければならない。

①わが国が初級段階にあるという基本的国情、②人民が日増しに増大させている物質・文化の需要と、落後した社会生産との間の主要な矛盾、③発展途上国という国際的地位の「3つには変化がない」ことを見て取らなければならない。経済建設という中心をしっかりと軸として、発展という第一の重要任務にしっかりと取り組み、科学的発展を実現しなければならない。

マクロ政策の連続性・安定性を維持し、区間コントロール・方向を定めたコントロール・事前調整・微調整を堅持する。3大方向を際立たせ、①改革深化という方法により、成長を安定させ、発展を促進させることに力を入れ、②構造調整という措置により、足らざるところを補い、持続力を増すことに力を入れ、③民生改善という成果により、福祉を増進し、動力エネルギーを加える。経済の中高速成長を維持し、ミドル・ハイエンドの水準に向けて邁進する。

¹ 同日国務院常務会議も開催されており、国務院常務会議ではなく、なぜこのメンバーに絞ったのか、なぜここに、経済閣僚だけでなく常万全国務委員・国防部長が含まれているのかは定かではない。会議では、党の大衆路線教育実践活動についても議論されており、ほかにも議題があった可能性がある。

² ゴチックは筆者。

国務院の手配を実施し、6大措置を推進する。

①行政の簡素化と権限の開放を引き続き推進する

有利なタイミング・糸口をしっかりと掴み、基本的でない公共サービス・資源・環境保護等の価格改革を順序立てて推進する。

②大衆の切迫した需要、遅かれ早かれ手を付けなければならない脆弱部分に狙いを定める

年内に、水利・環境保護・情報ネットワーク等の分野で重大プロジェクトに再着工する。

プロジェクトファイナンス・特許経営等のモデルを開拓・推進し、社会（民間）投資を奨励する。

③消費を促進する政策を整備する

個人所得を引き上げ、消費需要を拡大する。

④構造改革により構造調整を推進する

「三農」、小型・零細企業、新産業とりわけ相互ネットワークを基礎とした新業態の成長を更にしっかりと支援する。

⑤財政・金融政策をうまく活用する

適時・適度に方向を定めた措置を運用し、普遍的に費用引下げを推進し、実体経済を支援し、「資金調達難・資金調達コストが高い」状況を緩和する。

⑥開放を拡大し、対外貿易競争の新たな優位性を育成する措置を検討し、打ち出す

今年の主要目標・任務の進展と達成状況について監査を強化し、最終結果を年末に棚卸しして報告しなければならない。仕事をしない無駄飯食い・法規違反に対しては厳格に責任を問い、勤儉・廉潔な政治を行い、政府活動に対する社会・世論の監督を歓迎する。

各地方・各部門は有効な方法を打ち出し、怠惰な行政を改め、実効を求め、今年の任務を達成させると同時に、来年の経済社会の発展を企画しなければならない。

(10月9日記)